

第1回船員養成・就業拡大に向けた訴求強化戦略策定検討チーム
議事概要

日 時：令和7年4月25日(金) 10:00～11:35

場 所：国土交通省9階海事局第5会議室

出席委員：今井委員、岩瀬委員、遠藤委員、小沼委員、釜井委員、越水委員、巢籠委員、
鈴木委員、田口委員、田中委員、逸見委員

議事次第に沿って、事務局から資料の説明を行った後、意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

議事概要：

- ・訴求強化の取組として行うべきことには4つのステージがあると考え。1つ目は若年層に対して船員を目指す人を増やす活動、2つ目は船員教育機関等の就職段階の学生が確実に船員に就職するための活動、3つ目は船員へ就職した人が確実に定着するための活動、4つ目は陸上職から船員への転職者を増やす活動。この4つのステージごとにそれぞれ効果的に活動していく必要がある。特に1つ目の若年層に対する活動は一般の人を対象としているため、効果的に実施することは難しいと思うが、各団体がバラバラに活動していることから効果的なものとはなっていない。そのため、海事局の指導のもと、効果的な活動ができるような方向性を見出せればと思う。
- ・各団体において、船員の訴求強化に係る活動を新たに始める際、既に他の団体で実施されているものか、また、他団体と連携して実施できるのかなどがわからない状況である。内航総連においては、陸上の転職希望者へ6級海技士への入学を案内し、船員への就職を促しているが、内航総連のみでアプローチをしても、それほど効果的なものとはなっていない。そのため、各団体のホームページにおいて掲載することや、海事局において情報を集約した上でまとめて掲載することで、より効果的なものになると考える。
- ・各団体において人材確保における様々な取組を既に実施していることを改めて確認できたところ、各団体の取組を相互に認識することが重要であると考え。各団体の取組をまとめることにより、参加する側としても、また企画する側としても効果的なものになると考える。
- ・各団体が様々な取組をしているが、SNSで船員を調べると様々な団体のWEBサイトが出てくるため、どれを見ればいいのかからない。特に、子供たちが船員について調べた際、得たい情報が得られない状況であると思うため、それらを整理する必

要がある。また、既存の取組を集約することに加えて、取組を編集、デザインし、各ターゲットに届けて行くことで効果的なものとなる。そのことにより、各団体の取組をスマートにすることもできると考える。なお、今後はWGの中で具体的な検討をするが、そこへ学習者（学生）が入ることができるか伺いたい。学習者が自分事として考えることで、当該学習者が下の世代の学生へ伝える際に、より効果的な取り組みができるようになると思う。

- ・取組内容の編集に加えて、スケジュールリングも重要であると考え。各団体それぞれ事情があり取組を集約するということは大変なことと理解する。そのため、まずどのタイミングで実施しているのか、また効果的なタイミングはどの時期なのかを細かく吸い上げて、実施スケジュールに落とし込むことで、取組の効果を最大限発揮させることが大事になってくる。そのうえで、各団体の取組をスケジュールリング、編集するための事務局の機能が重要であるため、事務局となる海事局は継続的に情報発信の取組状況を検証していくための機能を強化していくべきであり、そのような人材を国交省の中で育成していくということも必要であると考え。
- ・学校の先生には船員という仕事についてあまり理解してもらえておらず、先生から学生に船員という仕事を勧めることができない状況であるため、先生に船員という仕事を理解してもらうことで、学生に船員という仕事について伝えてもらうことができると考える。また、学習指導要領の改訂は難しいと理解するが、授業の中で少しでも海運、船員について取り扱い、認知してもらうことが重要と考える。
- ・委員の皆様から頂いた意見の共通するものとして、各団体がそれぞれどのような取組を行っているのかという情報共有の不足に課題があると認識した。そのうえで、各団体の取組内容とスケジュールについて海事局へ共有いただき、海事局において集約したうえで各団体へ展開をするというような取組については今後の検討チーム及びWGにおける議論を待たずともできると思うためこれから取り組んでいく。そのうえで、具体的な検討に際しては、若年層や学生、転職者等の段階ごとの取組の整理についても進めさせていただく。また、学生や先生等に参加を求めるかという点については、実際にWG参加いただくのか、もしくは議論を進める中でヒアリングの機会を設けるという形もあると思うところ検討をさせていただく。そのなかで、ヒアリング等において出てきた意見を取り込んで議論を発展させていくことでより意味のある戦略を検討できるのではないかなと思う。委員の皆様から頂いた意見を踏まえながら今後、WG等において検討を進めさせていただき、戦略案がまとまった段階で皆様に共有させていただく。

以上